

佐渡航路の活性化を狙い、運航・観光情報を大型ディスプレイで提供。 動きのある高精細映像により、明るいターミナルへ印象が一新。

お客様のニーズ・課題

文字のみのLED電光板をリプレースし、動きのある静止画や動画で運航や観光情報など提供したい。お客様に佐渡を強く印象付けることで集客につなげ、佐渡航路の活性化を図りたい。



導入効果

高輝度・高画質の大型ディスプレイにより、太陽光が入り込む屋内でも映像による効果的な季節毎の情報提供を実現。待合室の印象が一新され、ターミナルの雰囲気明るくなった。



佐渡汽船株式会社様

朱鷺のいる島・佐渡は、歴史的な名所や旧跡、伝統芸能が多く、春は「花」、夏は「海」、秋は「紅葉」、冬は「味覚」と、四季折々の自然が満喫できる魅力ある島です。その佐渡ヶ島に本社を置く佐渡汽船様は、佐渡島民の生活航路として、また年間約60万人の観光客の交通手段として、本土と佐渡ヶ島を結ぶ定期航路事業を展開しています。親切、丁寧な対応を経営方針とし、お客様には安全で快適な船旅を、貨物には確実・迅速な輸送を行っています。



佐渡汽船株式会社

営業部長 藤井正由様(左)と、
経営企画室長 朝賀一夫様(右)にお話を伺いました。

導入背景

大型で高精細なディスプレイを導入し、佐渡航路の活性化を図りたい。

出航案内などの航行情報を表示していたLED電光板がリプレースの時期を迎え、新システムを導入することになりました。当社は乗船港として6つの港を管理していますが、従来のLED電光板の運航案内システムは港ごとに運用を行い、また文字のみを表示するものでした。

リプレースするにあたって数社からシステム提案を受け、現在の運航案内システムは、配信コンテンツの一元管理や港ごとの管理など状況に応じた使い分けが可能で、静止画や動画なども表示でき、幅広い表現が可能であることが分かりました。文字だけでなく動きのある映像の方が、お客様の注目を集められるのは当然のことです。

その多彩な情報コンテンツを表示するものとして大型で高精細なディスプレイを導入し、佐渡航路の活性化を図ろうと考えました。



3面連動設置により、3面・2面・1面と自由なレイアウトが可能で、多彩な観光情報を分かりやすく案内

選定理由

防塵・防滴性能と高輝度・高画質、実績によりソニー製品を選定。

ソニー製品を選定したのは、交通系の実績が多いことが大きな要因ですね。現在の大型ディスプレイシステムで何ができるのか理解するために、数多くの導入事例を参考にしました。特にJR品川駅の自由通路の事例では、ずらりと並んだディスプレイに多彩なコンテンツが色鮮やかに表示されていて、非常に強い印象を受けました。

港の待合室も人の出入りが多いことから、堅牢性が高く、高精細なディスプレイを設置したいと考えていたため、品川と同様のディスプレイが最適ではないかと思ったのです。

数社の製品を比較検討した結果、防塵・防滴性能を備えていること、太陽光が入り込む屋内でも視認性の高い輝度を持ち、フルHDの高精細画質であること、メーカーとしての信頼性の高さなどから、ソニーのパブリックディスプレイとデジタルサイネージを採用しました。



人通りの多い所でも、堅牢・防塵・防滴により、安定稼働を実現

● 導入効果

動く映像により待合室の印象が一新。明るい雰囲気のターミナルへ。

システムのリニューアルは2009年夏に実現しました。

新潟港の待合室には、65V型フルHD液晶ディスプレイGXD-L65H1を3台、52V型フルHD液晶ディスプレイGXD-L52H1を2台、47V型フルHD液晶ディスプレイFWD-S47H1を4台、42V型フルHD液晶ディスプレイFWD-S42H1を2台導入しました。また、両津港にはFWD-S47H1を3台、FWD-S42H1を4台、小木港と直江津港にはFWD-S47H1を2台、40型ディスプレイを1台導入しています。

ディスプレイは天吊りのほか、壁や柱埋め込みなどその場所に相応しい配置を考慮して設置しました。観光客や地元の方をターゲットとして、運航情報のほか、観光情報やフェリーの空席情報、食事メニューなどをコンテンツとして表示しています。

運航情報は文字中心ですが、ブラックを背景とした白文字はコントラストが高く、従来よりも格段に読み取りやすくなりました。

観光情報は季節ごとにテーマを変え、静止画を切り替えたり、エフェクトをかけて面白い効果を演出したり、動画を流したりしています。

また、せっかく運航案内システムを一新するならば、お客様にインパクトを与える材料が欲しいという考えから、新潟港に導入した3台のGXD-L65H1はマルチディスプレイとして使用しています。

3台のディスプレイを1面として映像表示したり、2台を1面として扱い、残る1台には別のコンテンツを表示したり、3台とも別々のコンテンツを表示したりなど、構成を自由に変更できます。狙い通りお客様の興味を惹き、印象付けに成功していると思います。

動く映像があることで待合室の印象が一転し、ターミナルの雰囲気が明るくなりました。2011年の夏以降は、省エネ問題などから輝度を50%に落としているのですが、それでもシャープな映像表示を実現できています。



総合案内所には、大型ディスプレイによる佐渡観光情報表示と観光情報案内、宿泊や観光バス、レンタカーを紹介



カーフェリー、高速船(ジェットフォイル)の出港案内を表示

● 今後の展望

タッチパネル機能を導入して集客を狙うなど仕掛けの幅を広げたい。

お子さんに多いのですが、何度かディスプレイに直接触れて、反応するのを待っている姿を見ました。携帯電話でもゲーム機でもタッチパネル式が増えていきますし、タッチパネルは若い世代にアピールする材料となるかもしれません。今回導入したディスプレイはタッチパネルには対応していませんが、将来的にはタッチパネル式のディスプレイにして、ユニークな仕掛けを用意したいと考えています。

また、地元のコンテンツ制作会社や広告代理店などとも協力して、見て面白い、楽しいコンテンツを増やし、集客につなげていきたいですね。ある港で行われているイベント情報を別の港で表示するのもいいかもしれません。まだまだ様々な可能性があると思っています。



出港情報を表示。また、下段にテロップ表示を設け、各港独自にコメントを流す

パブリックディスプレイの商品情報やお客さま事例をご覧ください。
sony.jp/public-display/

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

記載の商品に関するお問い合わせは

ソニー業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588

●FAX 0120-333-389

●受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2012年3月現在